第 10 講 【近世編】アジアの繁栄

PART6 清代の周辺地域と文化

Chapter 1　清代の周辺地域の状況

目標　チベットにおけるチベット仏教の改革運動を理解しよう。
琉球王国と中国や日本との関係がどのようなものだったのか知ろう。

清代の周辺諸国

1　チベット

14 ～ 15 世紀初め　〔　　　　　　　　　　〕がチベット仏教の改革を行い，

〔　　　　　　〕（ゲルク派）を創始

16 世紀後半　タタールのアルタン＝ハンが黄帽派チベット仏教に帰依

教主に〔　　　　　　　　　　　〕の称号を贈る

→チベット仏教がモンゴル，オイラト，満洲にも広がる

1720 年　清の保護下に入る

チベット仏教の教主

ダライ＝ラマが政教両権を把握

※**ラサ**が政治・宗教の中心地となる。

※郊外の**ポタラ宮殿**が歴代**ダライ＝ラマ**の宮殿になる。

2　琉球や台湾

①琉球

1609 年　**薩摩藩**の島津氏により，琉球王国の**首里城**が陥落

※中国へ朝貢を続けながら江戸幕府にも使節を派遣。日中両国に服属する

〔　　　　　　　　　　　　〕となる。

→日本と中国の要素を含む琉球独特の文化が花開く

②台湾

1624年　**オランダ**に占領される

1661年　明の遺臣〔　　　　　　〕がオランダ人を追放，反清勢力の拠点とする

1683年　鄭氏が清の康熙帝に降伏，清の領土に組み込まれる

3　日本や朝鮮

①日本

1603年　徳川家康が江戸に武家政権**江戸幕府**を開く

1607年　朝鮮の使節〔　　　　　　　　　〕が来日

※朝鮮侵略以来悪化していた日朝関係が，対馬藩の仲介で改善。

1609年　平戸にオランダ商館が開設される

1641年　**鎖国**体制が完成

※長崎の出島で，**中国**（**清**）と**オランダ**だけに貿易を行うことを許可。

②朝鮮（朝鮮王朝）

16世紀以降　〔　　　　　〕と呼ばれる官僚による権力争いが激化

1592年，1597年　日本の豊臣秀吉に侵攻される（壬辰・丁酉倭乱）

1637年　清の侵攻を受けて服属，朝貢国となる

※両班の間に，朝鮮が中国文明の唯一の継承者とする「**小中華**」思想が広まる。

4　ベトナム

1778年　**黎朝**が倒れ，**西山政権**が成立

1802年　**阮福暎**が西山政権を破り，〔　　　　　〕が成立

※ユエ（フエ）を都とする。

清に朝貢し，国号を〔　　　　　〕（ベトナム）とする

まとめ

チベットではツォンカパが黄帽派を創始し厳しい戒律を定め，タタールからダライ＝ラマの称号を得た。

琉球王国は中国に朝貢したが，薩摩藩の島津氏の侵攻後は服属し，日中両属体制となった。

Chapter 2　清代の社会と文化

目標
清代の貿易政策はどのようなものだったのかおさえよう。
清代で発達した儒学について知ろう。

1　清代の社会

①南洋華僑の増加

A　17世紀末には約1億人だった中国の人口は，18世紀末には約3億人になった

B　貿易の活発化に伴い，東南アジアに移住する〔　　　　　　　　〕が増加

→経済力を伸ばし，主要港市に**華人**（現地の国籍を取得した人）の街を形成

※**会館**などの相互扶助組織をつくり，各地の社会に根づく。

②貿易

1757年以降，貿易船の来航を**広州**一港に限定。〔　　　　〕と呼ばれる特権商人組合に関税の徴収などを請け負わせる

③税制

丁税（人頭税）を地銀（土地税）にくり入れて一括徴収する〔　　　　　　　　〕を施行

※丁税逃れの人口隠しがあったため。

→徴税が地域レベルに委ねられ，〔　　　　〕（地方有力者）の勢力が強まる

2　清代の文化

明代に引き続き，郷紳（地域の指導者）や商人たちによる都市文化が発展。

①学問

思想家の**顧炎武**や**黄宗羲**らが，儒学の古典を実証的に研究する学問〔　　　　　　〕を創始

→考証学者の〔　　　　　　〕が考証学的な史学を確立

②文学

上流社会の栄華没落を描写した〔　　　　　　　　　　〕や，科挙と官僚を風刺した『**儒林外史**』，短編の怪奇小説を集めた『**聊斎志異**』などの小説が生まれる

③中国の伝統的な学術の尊重

A　康熙帝の命で字書〔　　　　　　　　　　　〕を編さん

B　雍正帝の時代に百科事典『**古今図書集成**』が完成

C　乾隆帝の命で中国最大の叢書〔　　　　　　　　　　　〕を編さん

3　イエズス会士の来朝と典礼問題

①イエズス会士と技術の伝来

イエズス会士が布教のために来朝。ヨーロッパの技能をもたらす

A　ドイツ人**アダム＝シャール**が時憲暦を作成し，欽天監監正（天文台の長官）になる

B　ベルギー人〔　　　　　　　　　　　　　　〕が大砲を鋳造

C　フランス人**ブーヴェ**が清の実測図〔　　　　　　　　　　　　〕を作製

D　イタリア人〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕が西洋画法を紹介し，

離宮〔　　　　　　　〕を設計

※アロー戦争で英仏軍に破壊された。

②カトリック会派の論争〔　　　　　　　　　〕がおこる

布教のため，伝統的な孔子崇拝や祖先祭祀（典礼）を容認した**イエズス会**を，他会派の宣教師が糾弾。カトリック内部の論争に発展

18 世紀初頭　ローマ教皇クレメンス 11 世がイエズス会の布教を異端とする

→康熙帝が**イエズス会**だけに布教を許可

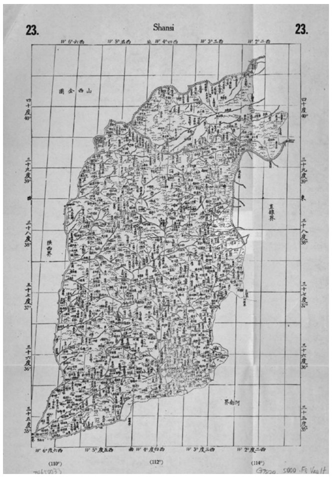
1724 年　雍正帝が〔　　　　　　　　　　〕の布教を全面的に禁止

③**中国趣味（シノワズリ）**の流行

宣教師たちが儒教・科挙など中国の思想や政治体制，

造園術などをヨーロッパに伝え，中国への関心が高まる

円明園



『皇輿全覧図』

まとめ

貿易港を広州一港に限定し，特権商人の公行が貿易を独占した。

実学を重んじる清代では，経典を実証的に研究する考証学が発達した。

第10講 PART6 確認問題

1 チベット仏教の教主ダライ = ラマのために建設された宮殿はどれか。

① 紫禁城 ② ポタラ宮殿
③ 景福宮 ④ アルハンブラ宮殿

2 江戸時代，鎖国下の日本と貿易を行っていたヨーロッパの国はどこか。

① ポルトガル ② イギリス
③ スペイン ④ オランダ

3 1802 年に成立したベトナムの王朝はどれか。

① 阮朝 ② 李朝
③ 陳朝 ④ 西山朝

4 乾隆帝の時代，ヨーロッパ船の来航が唯一許されていた港はどこか。

① 明州（寧波） ② 臨安（杭州）
③ 広州 ④ 泉州

5 顧炎武らが創始した，儒学の古典を実証的に究めようとする学問はどれか。

① 訓詁学 ② 公羊学
③ 陽明学 ④ 考証学

6 乾隆帝の命によって編さんされた中国最大の叢書はどれか。

① 『四書大全』　② 『四庫全書』
③ 『古今図書集成』　④ 『儒林外史』

7 フランス人宣教師ブーヴェが作製した，清の実測図はどれか。

① 『太極図説』　② 『坤輿万国全図』
③ 『皇輿全覧図』　④ 『海国図志』

8 イエズス会宣教師フェルビーストが清で行った活動として正しいものはどれか。

① 大砲を鋳造した　② 円明園を設計した
③ 時憲暦を作成した　④ 『康熙字典』を編さんした

第 10 講　PART 6　確認問題 解答

1 解答：②　**ポタラ宮殿**は 17 世紀にダライ＝ラマ 5 世によって造営された宮殿で，チベットの政治・宗教の中心だった。

2 解答：④　**オランダ**は徳川幕府からヨーロッパの国で唯一貿易を許され，日本貿易を独占した。

3 解答：①　1802 年，阮福暎が西山政権を破って全ベトナムを統一し，**阮朝**を建てた。

4 解答：③　清は貿易の秩序を整えるため，1757 年以降ヨーロッパ船の来航を**広州**一港に限定した。

5 解答：④　**考証学**は清の時代に流行した学問で，代表的な学者に顧炎武，黄宗羲，銭大昕がいる。

6 解答：②　『**四庫全書**』は乾隆帝が編さんさせた叢書で，1782 年に刊行した。

7 解答：③　フランス人のイエズス会宣教師ブーヴェは，康熙帝の命で全国を測量し，中国全土最初の実測図『**皇輿全覧図**』を作製した。

8 解答：①　ベルギー人のイエズス会宣教師フェルビーストは，1673 年におこった三藩の乱の際に**大砲を鋳造**して乱の平定に貢献した。